

令和8年度

安曇野市の教育の方針



令和8年4月1日

安曇野市教育委員会



安曇野市が目指す教育

1 基本理念

〔子どもに対する教育や支援〕

からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓く たくましい安曇野の子ども”を育みます。

〔生涯を通じた学び〕

すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

2 基本方針

- ◆1 子ども・若者が健やかに成長し、安心して暮らせるまちの実現
- ◆2 郷土愛と未来を切り拓く力を育む魅力ある学校教育の実現
- ◆3 学校と家庭、地域等との連携による豊かな学びと心の育成の実現
- ◆4 生涯を通じ学ぶ喜びを実感できる地域の実現
- ◆5 スポーツを通じて心や体を健やかに育む地域の実現
- ◆6 文化芸術を育むとともに歴史・文化遺産を継承し続ける地域の実現

安曇野市・安曇野市教育委員会「第1次 安曇野市教育振興基本計画」(令和7年3月)参照

表紙(ステッカー)について (リニューアル版: 令和4年4月1日～)

「からだを動かし・頭で考え・心に感ずる」は、安曇野市出身の文芸評論家・作家・教育者 白井吉見さんの言葉。安曇野市の宝である子どもたちが健やかに成長してほしいという願いを込め、園児・小学生・中学生を、北アルプスの高山に生息する希少鳥類ライチョウに見立ててデザインしたものだ。

令和8年度 安曇野市立認定こども園・幼稚園グランドデザイン



＜基本理念＞ 安曇野市教育振興基本計画 —R7.4.1～R11.3.31—

- ・からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。
- ・すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、安曇野市堀金出身の白井吉見さん(1905-1987)の講演「中学生諸君にのぞむ」(1967)から

＜基本方針＞ 安曇野の自然や地域の中で、体験・交流活動を充実させ、安心して子育てができる環境を整えます。また、一人ひとりの個性を認め合う共生社会の実現を目指し、すべての子どもの権利を尊重します。

＜施策目標＞ 乳幼児期は、健康な心身をつくるうえで最も大切な基礎となる時期です。本市の地域資源を活かした質の高い教育・保育を提供し、子どもたちの健やかな成長を目指します。

(安曇野市教育振興基本計画)

育てたい安曇野の子ども —豊かな人間性や生きる力—

- ・いのち(自分・人・生き物)やものを大切にする子ども
- ・あいさつができる子ども
- ・さまざまな人とのかかわりを通して、お互いを認め合える子ども
- ・好奇心を持ち、意欲的に取り組み、やり抜こうとする子ども
- ・自分で考え、主体的に行動できる子ども
- ・人の話を聞き、自分の気持ちを伝え表現できる子ども
- ・自然の中で豊かな感性を育み、表現できる子ども

(参考)「育てたい姿(10の力)」

- ①健康な体と心
- ②自立心
- ③協同性
- ④道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤社会とのかかわり
- ⑥思考力の芽生え
- ⑦自然とのかかわり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字への興味
- ⑨言葉による伝え合い
- ⑩豊かな感性と表現

(文部科学省「新幼稚園教育要領」から)

運営の重点 健康と安全 安全管理 食育の推進 相談窓口の充実 保護者との連携
 地域との連携 小学校との連携 職員の研修 信州やまほいく(信州型自然保育)
 園庭芝生化 特色ある保育の積極的な発信 明科中学校区「地域との連携・協働体制づくり」

心に留めておきたい安曇野ゆかりの先人の教え

悉皆異質存同時

ことごとく みないっしょに ときをおな 一緒に 存す

(太田美明さんの言葉)

—みんな違って当たり前。自分を成長させるには、自分と異なった性格の人と交わることが欠かせない。教育に携わる者、さらに、子どもたちも同様に—
 太田美明さんは旧南安曇郡梓川村出身、元信濃教育会長。昭和63年10月、教育会創立百周年記念を祝して、この言葉をしたためた書が贈られた。

安曇野市立認定こども園は、国の「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、「安曇野市立認定こども園教育・保育課程」を作成し、生後6か月から就学前までの子ども一人ひとりの成長発達段階にあわせて、教育・保育を行っています。

令和8年度 安曇野市学校教育グランドデザイン



＜基本理念＞ 安曇野市教育振興基本計画 —R7.4.1～R11.3.31—

- ・からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。
- ・すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、安曇野市堀金出身の白井吉見さん（1905-1987）の講演「中学生諸君にのぞむ」（1967）から

＜基本方針＞ 協働的・探究的な学びを通じて特色と魅力ある学校づくりを推進します。郷土への愛着と誇りを持ち、他者を尊重し対話を重ね、主体的に学び、考え、判断し、行動する児童生徒を育みます。併せて、学び続ける教職員を支援します。（安曇野市教育振興基本計画）

自ら動く児童生徒

- ・自ら考え、判断し、行動する児童生徒
- ・自分らしく、自己を表出する児童生徒

願う 児童生徒、教師、学校の姿

学び続ける教師

- ・自主的、自発的に専門性や人間性を高める教師
- ・明るく元気に、笑顔で子どもの前に立つ教師

地域へ飛び出す — 地域とともに歩む学校

- ・地域の“ひと・もの・こと”と積極的なかわりを持ち、体験的・探究的な学びを展開する学校

安曇野型小中一貫教育の推進

中学校区ごとの「目指す子ども像」と重点プロジェクト

分野別委員会：「安曇野の時間」推進委員会、ICT教育推進委員会

「安曇野の時間」～安曇野ふるさと学習～ ICT教育の推進

充実を図りたい共通項目

- 豊かな感性を育む自然・文化・芸術プログラムへの参加
- 郷土愛の育成 学力向上 成長の土台づくりと体力向上
- 多様性を認め合う共生社会の実現 命を守る
- 地域・学校・園での異年齢の交流（連携・接続と協働）
- 地域食材・伝統食（安曇野らしい食育）

安曇野市コミュニティスクール：学校運営協議会・地域学校協働本部

心に留めておきたい安曇野ゆかりの先人の教え

悉皆異質存同時

ことごと みないしつ とき おな そんな おおたよしはる
 悉く皆異質、時を同じうして存す （太田美明さんの言葉）

—みんな違って当たり前。自分を成長させるには、自分と異なった性格の人と交わることが欠かせない。教育に携わる者、さらに、子どもたちも同様に。—
 太田美明さんは旧南安曇郡梓川村出身、元信濃教育会長。昭和63年10月、教育会創立百周年記念を祝して、この言葉をしたためた書が贈られた。

安曇野市・安曇野市教育委員会（学校教育課・学校給食課・生涯学習課・文化課・子ども家庭支援課・こども園幼稚園課）

認定こども園・幼稚園など

学校運営協議会・地域学校協働本部

県教育委員会・中信教育事務所

家庭・地域

校長会・教頭会・教育会・退職校長会・県立特別支援学校・市内県立四高校校長会・市PTA連合会・教育関係七団体

安曇野型 小中一貫教育

小中連携の強化により中学校区ごとの特色と魅力を高め、子どもたちを9年間かけて一体となって育みます

安曇野市では、中学校区で育てたい子ども像（9年間の一貫した教育目標）を設定し、成長段階に応じた系統性・継続性・連続性に考慮した学びのあり方を考え実践しています。



各中学校区では、地域性を生かした学習を展開します。下の図のそれぞれの果実に表した「目指す子どもの姿」の実現が、「未来を拓くたくましい安曇野の子ども」の具現に繋がると考えています。

安曇野市の中学校区

- ①穂高東中【穂高南小・穂高西小】
- ②穂高西中【穂高西小・穂高北小】
- ③豊科北中【豊科東小・豊科北小】
- ④明科中【明北小・明南小】
- ⑤豊科南中【豊科南小】
- ⑥堀金中【堀金小】
- ⑦三郷中【三郷小】

中学校区
目指す子どもの姿
重点プロジェクト



各中学校区で目指す子ども像 実現のための7つの重点プロジェクト



- 体験を通して探究的に学ぶ
からだを動かし
- 対話的で深い学びの充実
頭で考え
- 豊かな心の育成
心に感ずる



「安曇野ふるさと学習」の推進
9年間を通して「ふるさと安曇野」への愛着や誇りを醸成するために、安曇野の地域材（教材）研究や、地域の協力者との繋がりを広げます。それぞれの実践の共有にも力を入れます。

情報活用能力の育成・時間の創出
探究的な学びを支える「情報活用能力の育成」と学校改革や授業改善を支える「教職員の余白創出」を柱として研究し、学習へのICT活用や情報リテラシー教育、校務DXを推進します。

未就学時期の様々な体験活動 園での遊びや学び

「安曇野の時間」推進委員会では「安曇野ふるさと学習」を推進します！

安曇野ふるさと学習とは



中学校 1年生～3年生

キャリア教育や地域探究学習、各教科学習を通して、地域との関わりをさらに深める。地域社会の一員としての自覚をもち、地域のために自分にできることを考えたり、地域の課題を自分事として捉えたりできる「未来の担い手」を育てる。

小学校 5年生～6年生

日本や世界との比較や繋がりがりから、安曇野の文化、伝統、先人の努力を知ること、「ふるさと安曇野」に対する見方・考え方をさらに広げていく。より広い視野をもって地域を見つめ直すことで、ふるさとへの愛着や誇りを深めていく。

小学校 3年生～4年生

社会科での学習を切り口に、身近な環境や地形等を視点にふるさと安曇野を見つめ直す。教科での学びを総合的な学習の時間に横断的に繋げ「安曇野を学び、安曇野で学ぶ」ことを往還しながら、「ふるさと安曇野」に対する見方・考え方を広げていく。

小学校 1年生～2年生

園での自然保育や未就学時期の体験を生かし、五感を使った体験を中心に「安曇野から学ぶ」。地域の動植物、自然、人々に関わり、驚きや不思議との出会いを大切に様々な「こと」「もの」との触れ合いを重視していく。

ふるさと学習を支える安曇野の人々

様々な市内公共施設

キャリアアフェスティバル参加事業所

安曇野ふるさとづくり応援団

コミュニティ・スクール

探究的な学びを支える、未来を拓く

情報活用能力の育成

情報技術の
活用

適切な
取り扱い

特性の
理解



小学校5～6年生

【使いこなして探究する】

1. 情報技術の活用

一定のタイピングスキル（40字/分）を基盤に、クラウドでの協働編集やブログラミングを体験し、多様な視点を取り入れて考えを深める力を養う。

2. 特性の理解

情報の出典確認や生成AIの特性理解を通して、情報の信頼性を精査する力を養い、知的財産権や相手への影響を考えた発信ができる。

3. 適切な取扱

情報の信頼性や安全性のリスクを判断し、ネットワーク社会の一員として、法やルールを守りながら目的や状況に応じた最適な活用を実践する。

小学校3～4年生

【目的をもって使う】

1. 情報技術の活用

ローマ字入力習得し、目的に合わせてアプリや検索方法を選択・活用して、自分の考えを形にする。

2. 特性の理解

情報の信頼性を意識して整理・比較し、著作権や肖像権などの個人の権利を尊重する態度を養う。

3. 適切な取扱

ネットの安全な使い方を理解し、SNS等が心身に与える影響を知って、自律的にルールを守って活用する。



小学校1～2年生

【デジタルツールに慣れ親しむ】

1. 情報技術の活用

写真や動画で発見を記録し、絵や言葉で自分の思いを表現する力を広げる。

2. 特性の理解

送信データは消えないことなど、安全に関わる特性について知る

3. 適切な取扱

使用時間や姿勢に気をつけ、ID・パスワードを大切に扱う。

中学校1～3年生

【科学的に理解し活用する】

1. 情報技術の活用

高度なタイピングスキル（60字/分）を基盤に、AIやWebを併用して情報を精査・収集する。ブログラミングやデータの活用を通じ、社会の諸課題を解決するための高度な表現・探究力を磨く。

2. 特性の理解

AIの仕組みや情報の偏りを理解し、ハルシネーション等のリスクを考慮して情報の信頼性を判断する。技術分野の学習で、情報技術の原理原則を知り、社会との関わりを科学的に捉える視点を養う。

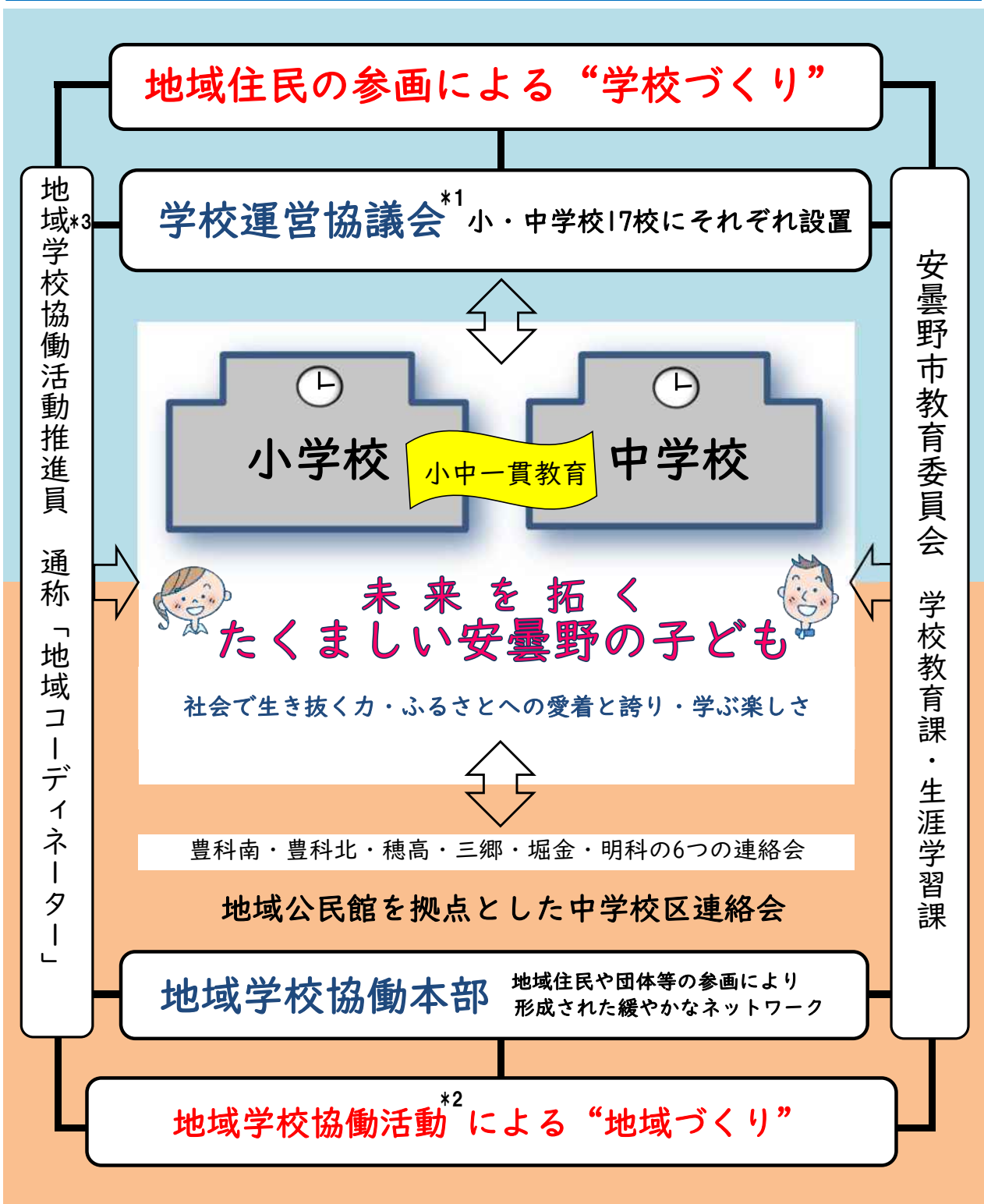
3. 適切な取扱

ネットワーク社会の一員として、法を遵守し、倫理に反しないよう、自らの責任で安全に情報を使いこなす。高度なデジタル技術が心身や社会に与える影響を理解し、日常的に最適な活用をする。

安曇野型小中一貫教育

安曇野市コミュニティスクール(ACS)事業

(歩み) H21～安曇野市学校支援地域本部事業、H26～安曇野市スクールサポート事業
H29～安曇野市コミュニティスクール事業、R4～学校運営協議会による新制度へ移行



*1 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第47条の5)に規定する学校運営協議会
*2 「社会教育法」(第5条第2項)により規定されている、地域が学校と連携・協働して行う活動
*3 「社会教育法」(第9条の7)に基づき教育委員会が委嘱する地域住民と学校との連絡調整等を行うコーディネーターで、安曇野市では、各小・中学校に1名以上配置している。

(資料1) 安曇野市立小・中学校、認定こども園・幼稚園一覧表

地域名	中学校名	小学校名	こども園・幼稚園名
豊科	豊科南中学校 豊科北中学校	豊科南小学校 豊科北小学校 豊科東小学校	豊科認定こども園 豊科南部認定こども園 南穂高認定こども園 たつみ認定こども園 アルプス認定こども園 上川手認定こども園
穂高	穂高東中学校 穂高西中学校	穂高南小学校 穂高北小学校 穂高西小学校	有明の森認定こども園 有明あおぞら認定こども園 西穂高認定こども園 北穂高認定こども園 穂高認定こども園 穂高幼稚園
三郷	三郷中学校	三郷小学校	三郷北部認定こども園 三郷南部認定こども園 三郷東部認定こども園 三郷西部認定こども園
堀金	堀金中学校	堀金小学校	堀金認定こども園
明科	明科中学校	明南小学校 明北小学校	明科北認定こども園 明科南認定こども園
計	7校	10校	19園

(資料2) 安曇野市の園と学校の概要

園・小・中別	園児・児童・生徒・教職員	人数(人)	前年度比
市立認定こども園・幼稚園	園児数	2,216	3
	教職員数	454	7
市立小学校	児童数	4,518	-89
	教職員数	354	14
市立中学校	生徒数	2,359	-20
	教職員数	212	-8

(園はR7.4.1現在、学校はR7.5.1現在)

